

週案の「振り返り」効果

■ 週案の「振り返り」効果

今年度、週案には毎日「振り返り」を記入する欄を設けています。内容自体は、前日の学習をSABCの4段階で自己評価し、短くコメントするだけの、シンプルなものです。しかし積み重ねていく中で、生徒たちには確かな変化が見えてきました。

- ・「昨日は家で数学の宿題をやった」など、自分の学習を具体的に言葉にできるようになった
- ・「今日は少し寝不足だった」と、自分の体調にも目を向けられるようになった
- ・「木曜日はテストだから、今週は多めに勉強しよう」と、見通しを持って計画を立てられるようになった
- ・「今週は塾のテストもあるから、学校のマイタイムで予習しておこう」など、学校以外の予定も含めて考えられるようになった

そしてもう一つ、この振り返りと同じくらい、あるいはそれ以上に大切だと感じているのが、週案を提出する「その瞬間」です。生徒が週案を渡しに来る、たったそれだけの動作の中に、必ず一人一人と言葉を交わす瞬間が生まれます。

「そんな些細なことで」と思われるかもしれませんが。

ですが、中学生という年齢は、大人と話すこと自体に少しハードルを感じたり、時には面倒に思ったりするものです。

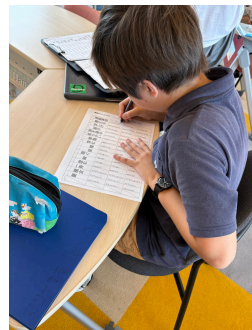
先生と話すよりも、友達と過ごしたいと思う年頃といえます。だからこそ、家庭でも学校でも、ふとした瞬間に会話が始まるきっかけが、日々のルーティーンの中に自然と組み込まれていることには、大きな意味があると感じています。週案を出す、ただそれだけの毎日の積み重ねが、生徒との何気ないやり取りを生み、日々の小さな変化に気づくきっかけにもなっています。

夏休み明け、また皆さんの元気な顔に会えることを楽しみにしています。



朝のルーティーン！
週案提出。先生と楽しく会話中です。

週案提出後に今日の漢字テストの勉強をする姿。



学校の週案とは別に、自分で学習の記録をつけている生徒もいます。ご家庭でのサポートも垣間見え、いつも嬉しく、あたたかい気持ちになります。学習を積み重ねていくことが、彼の自信につながっているようにも感じます。

